

教宣 せぶん

争議解決記念集会 IN 長野

“和解を反故にする出方があればいつでも馳せ参じる”

2月22日、争議解決1周年を記念した懇親会が開催されました。会場は善光寺のライトアップで有名な長野灯明祭り(2.5~2.13)が行われていた長野市にある食彩や「魚太郎」。全国一斉ピラポスティング統一行動後の報告会などで利用した居酒屋さんです。



マスターも、ママさんも、私たちのたたかいを熟知してくれていて、「解決してよかったね」「何年たかったんだっけ?」「和解後の待遇はどう?」ときさくに声をかけてくれました。このアットホームさが楽しい飲み会を、より楽しいものへといざなってくれました。

この日集まってくれたのは旧長野分会の仲間たちです。関東信越の7つの分会が統合され、およそ150名の組合員を抱える大きな組織がうまれたわけですが、統合されるやいなや、全損保からの“脱退”が提起され、ほとんどの組合員が賛成票を投じる中、意を決して“全損保に残らなければ雇用は守れない”と意思表示された方々です。ポスティングやカンパ、冊子購入など絶大な支援を受けました。



こうした仲間たちが、私たちの“その後”を気にかけてくれています。「会社が和解を反故にするような出方を見せれば、いつでも馳せ参じる」と力強いメッセージをいただきました。

こうして仲間たちが、私たちの“その後”を気にかけてくれています。「会社が和解を反故にするような出方を見せれば、いつでも馳せ参じる」と力強いメッセージをいただきました。

をいただきました。

組織として、いつでも支援してもらえるような“真面目さ”と“謙虚さ”を、持ち続けていなければいけないと感じました。